

## VI. 社会貢献活動

|                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1. 社会貢献の目標          | 4. 教員の社会的活動      |
| 2. 地域との連携           | 4.1 審議会等の活動      |
| 2.1 産学官連携における倫理規定   | 4.2 学外での講演等      |
| 2.2 地域の産・官との交流      | 5. 国際交流          |
| 2.3 自治体との連携         | 5.1 研究者及び学生の国際交流 |
| 2.4 医療機関との連携        | 5.2 調査等の協力       |
| 2.5 企業との連携          | 6. 同窓会との連携       |
| 2.6 教育界との連携         |                  |
| 3. 地域社会との交流         |                  |
| 3.1 地域との交流          |                  |
| 3.2 大学キャンパス周辺地域との交流 |                  |
| 3.3 小中高校生対象イベント     |                  |
| 3.4 大学施設の地域開放       |                  |
| 3.5 公開講座及び授業開放      |                  |

## VI 社会貢献活動

## 1. 社会貢献の目標

本学は、大分大学憲章において、社会貢献の目標を以下のように定めている。

1. 大分大学は、地域拠点大学として、教育・研究・医療の成果を地域社会に還元することにより、地域社会との連携と共存を図り、その発展に貢献する。
2. 大分大学は、国際的な拠点大学として、広く世界に目を向けて交流を進める。特に、アジア諸国との特徴ある国際交流を推進する。

## 2. 地域との連携

## 2.1 産学官連携における倫理規定

(現状)

平成17年度に策定した「利益相反ポリシー」を学内ホームページに掲載し学内構成員に対して周知し、啓発活動を行った。また、利益相反ポリシーに抵触する事案については、個別に対応を行っている。

(評価)

倫理規定「利益相反ポリシー」の策定により、産学官連携の基礎的条件を整備した。

## 2.2 地域の産学・官との交流

(現状)

本学は、全国の大学の中で最も早い時期（平成11年）に「地域連携推進室」を設置し、地域における産学官の連携に力を入れてきた。

これまでの産学官連携の中心は、地域共同研究センターが担ってきており、大分大学地域共同研究センター産学交流振興会、地域の工業団体・商工団体、自治体等と連携して交流を深めている。

また、本学大学院生を対象として開講しているMOT（Manegemnt of Technolgy＝技術経営）に関する講義を社会人に開放するとともに、「地域MOT推進協議会」を発足させ、地場企業の技術経営の促

進を図っている。

平成 18 年度においては、大分市、宇佐市において産学交流会を実施したほか、出張相談会、研究シーズ発表会、金融機関対象の産学連携に関する講習会等を開催したほか、資料 2.2-1 に示すような連携事業を行っており、資料 2.2-2 に示すような産学官交流研究グループに参加している。

さらに、産学官連携や地域との連携をいっそう推進するための学内情報の統合と外部への窓口を一元化するためにイノベーション機構の設置を行った（平成 18 年 4 月）。また学外リエゾンオフィスを設置し（平成 18 年 12 月）、学内のリエゾンオフィスの設置の準備を行った（平成 19 年 4 月 1 日設置）。

（評価）

地域の産学交流会や相談会等を積極的に開催し、地域連携推進会議等へ参加していることから、地域の産・官との交流活動は適切に行われている。

資料 2.2-1 平成 18 年度 産学官連携事業

| 事業名               | 回数 | 対象者                      | 参加者数 | 実施場所                            | 実施日  | 主催者                   |
|-------------------|----|--------------------------|------|---------------------------------|--|-----------------------|
| 大分市産業活性化プラザ運営協議会  | 1  | 県内企業<br>大学教員<br>大分市      | 10   | 大分市役所                           | H18.12.18  | 大分市                   |
| 佐伯市地域企業交流会        | 1  | 企業経営者<br>大学教員            | 38   | ホテルニュー佐伯                        | H18.11.29  | 大分県工業大団体、<br>佐伯市工業連合会 |
| 別府市まちづくり連携交流協定連絡会 | 1  | 別府市<br>商工会議所<br>大学代表者    | —    | 別府市役所                           | H18.8.29   | 別府市                   |
| 大分県工業団体連合会総務企画委員会 | 15 | 県内企業<br>大学教員             | 40   | 学内他                             | 通年   | 大分県                   |
| 産学連携支援コーディネート要請講座 | 3  | 大分みらい<br>信用金庫            | 13   | みらい信用金庫<br>本店<br>みらいしんきん<br>研修所 | H18.9.30<br>H18.10.7<br>H18.10.14                | 大分大学                  |
| 地域経済発展プロジェクト      | 1  | 県内企業<br>大学教員             | —    | 大分東洋ホテル                         | H18.10.11  | (社)大分青年会議所            |
| 大分県工業団体連合会総会      | 1  | 県関係団体<br>大学<br>自治体<br>企業 | —    | 第 2 ソフィアビル                      | H18.6.15   | 大分県工業団体連合会            |
| 連携協定に基づく合同報告会     | 1  | 大分銀行<br>大分大学             | —    | 大分銀行本店                          | H18.11.7   | 大分銀行                  |
| 産学官交流大会           | 1  | 県関係<br>大学<br>企業          | —    | 大分県産業化学<br>技術センター               | H19.3.13   | 産学官連携推進会議             |
| 大分市産学交流サロン        | 4  | 大学<br>高専<br>企業           | —    | 大分市産業活性化プラザ                     | H 18.5.23<br>H 18.7.21<br>H 18.11.24<br>H 19.2.1 | 大分市                   |
| 大分県地域 M O T 推進協議会 | 1  | 大分県<br>金融機関代表<br>大分大学    | —    | 大分市産業活性化プラザ                     | H19.2.8  | 大分大学                  |
| 大分大学・豊和銀行連携支援協議会  | 1  | 豊和銀行<br>大分大学             | 10   | 豊和銀行本店                          | H19.3.14   | 豊和銀行                  |

資料 2.2-2 産学官連携推進会議 産学官交流研究グループ参加者

| グループ名                         | 主任*       | 参加者*  | 人数 |
|-------------------------------|-----------|-------|----|
| 超精密加工と関連装置の開発設計と製造工程の研究       | 工学部助教授    | センター員 | 2  |
| 生物系材料の建築部材への有効利用              | 工学部教授     | 工学部教員 | 1  |
| 機能的食品の開発・製品化に向けての研究           | 教育福祉科学部教授 | センター員 | 2  |
|                               |           | 工学部教員 | 1  |
| 新しい食品加工技術の調査研究                | (企業幹事)    | センター員 | 1  |
| 水圏環境保全を目的としたコンクリートブロックの開発研究   | 大分高専助教授   | センター員 | 1  |
| ノーマライゼーションの見える町づくりモデル事業プロジェクト | 医学部教授     | センター員 | 1  |
| 半導体デバイスの関連の解析                 | 工学部教授     | センター員 | 1  |

\*センター員は大分大学地域共同研究センター員。学部のみは本学の学部の人数。

### 2.3 自治体との連携

(現状)

平成 16 年度より自治体との連携を社会連携の柱として位置付け、県内全ての市と協定を締結することとし、各市町村と協議を重ね、平成 18 年度に、県下の全市との協定締結を終えた。締結自治体を資料 2.3-1 に、連携実施状況を資料 2.3-2 に示す。

(評価)

自治体との協定を予定通りに実施しており、社会貢献活動として適切である。

資料 2.3-1 包括連携協定締結自治体

| 締結先         | 締結日         | 締結先   | 締結日        |
|-------------|-------------|-------|------------|
| 大分市         | H16. 10. 25 | 津久見市  | H18. 2. 23 |
| 中津市         | H17. 1. 28. | 由布市   | H18. 2. 28 |
| 豊後高田市       | H17. 3. 1   | 豊後大野市 | H18. 3. 2  |
| 別府市・別府商工会議所 | H17. 5. 25  | 佐伯市   | H18. 3. 8  |
| 大分県         | H17. 8. 8   | 杵築市   | H18. 3. 28 |
| 宇佐市         | H17. 8. 25  | 臼杵市   | H18. 7. 27 |
| 日田市         | H17. 10. 27 | 国東市   | H18. 8. 30 |
| 竹田市         | H17. 12. 16 |       |            |

資料 2.3-2 平成 18 年度 自治体との連携実施状況

| 自治体   | 開催日          | 事業の実施状況及び協議・計画事項                             |
|-------|--------------|--|
| 宇佐市   | H18. 3. 24   | 総合型地域スポーツクラブ支援活動事業                           |
|       |              | 地域福祉計画事業                                     |
|       |              | 地域交通計画事業                                     |
|       |              | 宇佐市電算システムに関する調査事業                            |
| 由布市   | H 18. 3. 31  | 由布市市民交通計画検討委員の推薦                             |
|       |              | 由布市総合計画委員の推薦                                 |
| 竹田市   | H 18. 4. 21  | 竹田市地域交通計画策定事業                                |
| 杵築市   | H 18. 5. 9   | 精神障害についての相談                                  |
| 由布市   | H 18. 5. 10  | 由布コミュニティ（地域の底力再生）事業                          |
| 佐伯市   | H 18. 5. 12  | 佐伯市総合交通計画策定事業                                |
| 中津市   | H 18. 5. 15  | 中津市新情報ネットワーク整備事業                             |
| 中津市   | H 18. 5. 26  | 地域新エネルギービジョン策定等事業実施計画（策定委員会委員）               |
| 中津市   | H 18. 5. 26  | 「大学と連携した地域づくり」（中津市木造校舎等研究）                   |
| 日田市   | H 18. 5. 29  | 日田市男女共同参画基本計画第二次行動計画策定委員会委員の推薦               |
| 豊後高田市 | H 18. 6. 16  | 「学びの 21 世紀塾」事業夏季特別講座（学生派遣）                   |
| 佐伯市   | H 18. 5. 6   | 佐伯市都市計画審議会委員の推薦                              |
| 豊後大野市 | H 18. 7. 14  | 豊後大野市地域交通計画策定委員の推薦                           |
| 杵築市   | H 18. 7. 14  | 杵築市総合計画審議委員の推薦                               |
| 豊後大野市 | H 18. 7. 19  | 竹田地区公民館連合会研修の講師派遣                            |
| 佐伯市   | H 18. 7. 24  | 男女共同参画事業策定委員の推薦                              |
| 豊後高田市 | H 18. 8. 8   | 豊後高田市 C A T V 施設整備工事総合評価審査委員会に係る学識経験者の推薦について |
| 別府市   | H 18. 8. 29  | 別府市まちづくり連携交流協定連絡会                            |
| 竹田市   | H 18. 9. 08  | 「秋・久住高原フェスタ」における経済効果測定                       |
| 由布市   | H 18. 9. 07  | 「地域自治」, 「市民自治」, 「地域コミュニティ」の相談                |
| 豊後高田市 | H 18. 9. 27  | 豊後高田市 e-むらづくり推進協議会委員の推薦                      |
| 佐伯市   | H 18. 10. 5  | 総合計画審議会委員の推薦                                 |
| 日田市   | H 18. 11. 7  | ピアノ機種選定検討会の出席依頼                              |
| 豊後大野市 | H 18. 11. 21 | 成人式における講演                                    |
| 豊後大野市 | H 19. 1. 23  | 公民館祭りにおける講演（生涯学習関係）                          |
| 宇佐市   | H 19. 2. 22  | 宇佐市地域公共交通会議委員の推薦                             |
| 中津市   | H 19. 3. 12  | 中津市総合計画策定にかかる審議会委員選任依頼                       |

## 2.4 医療機関との連携

（現状）

本学医学部および医学部附属病院の医師を地域の医療機関に非常勤医師として派遣している。

平成 17 年度は、医師延べ 695 人を派遣していたのに対し、平成 18 年度は延べ 171 の施設に延べ 740 人を派遣しており、前年度と比較して延べ 45 人増加している。全て、兼業手続きを行っている。

なお、常勤医師の派遣については、透明性を確保するため、医学部地域医療対策委員会において審

査しており、平成 18 年度では、35 名を派遣依頼に応じ派遣している。

(評価)

地域医療のニーズに応え非常勤医師を派遣しており、また、常勤医師の派遣に当たっては透明性を確保できている。

## 2.5 企業との連携

(現状)

平成 16 年度に株式会社大分銀行、株式会社豊和銀行と、平成 17 年度は大分信用金庫、大分みらい信用金庫、株式会社トキハと包括協力協定を締結した。金融機関との包括協力協定の締結は全国でも珍しい。

また、平成 18 年度においては、中小企業金融公庫大分支店との包括協力協定を締結した。大分合同新聞とは同社の創刊 120 周年を記念して、「明日を守る」ー防災立県めざしてーの実施に関する協定を結び（平成 18 年 1 月）、平成 18 年度中に多くの企画を共同で実施した。

(評価)

相談会等の活発な開催により企業のニーズに積極的に応えており、適切な連携活動を行っている。

資料 2.5-1 包括連携協定を締結した企業との協力内容

| 企業名          | 締結日       | 主な連携協力内容   |
|--------------|-----------|--|
| 大分信用金庫       | H17.6.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元産業の発展に寄与</li> <li>・共同研究等による地場企業の育成強化</li> <li>・ベンチャー企業の育成</li> <li>・相互の人材育成</li> </ul>                     |
| 大分みらい信用金庫    | H17.6.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりを通じた地域振興の貢献</li> <li>・地場産業からの技術相談、研究相談</li> <li>・大分大学と地場企業との共同研究の推進</li> <li>・中小企業等の創業、新事業支援</li> </ul> |
| 株式会社トキハ      | H17.5.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興への貢献</li> <li>・販売戦略に関する共同研究</li> <li>・相互の人材育成</li> </ul>   |
| 株式会社大分銀行     | H16.8.2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興への貢献</li> <li>・共同研究等による地場企業の育成強化</li> <li>・ベンチャー企業の育成</li> <li>・相互の人材育成</li> </ul>                       |
| 株式会社豊和銀行     | H16.8.3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究活動の連携</li> <li>・研究成果の普及、活用促進</li> <li>・学習機会の提供</li> <li>・中小企業への支援、情報提供</li> <li>・地域振興への貢献</li> </ul>     |
| 中小企業金融公庫大分支店 | H18.12.21 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「産学連携の協力推進に係る協定」を締結</li> </ul>   |

## 2.5.1 共同研究・受託研究

(現状)

本学における研究活動の現状と評価については、「Ⅳ 研究活動」の「4.2 共同研究／受託研究」で詳細に述べているので、ここでは地域に関連する事項のみを要約する。

平成18年度の研究依頼機関の所在地は、共同研究103件の内64件が、受託研究29件の内10件が県内機関とのものである。県内企業との共同研究テーマの事例を資料2.5.1-1に示す。

また、受託事業（鉄輪温泉地区湯けむり景観まちづくり計画策定委託業務ほか；13件）の実施などにより地域との連携を深めている（資料2.5.1-2, -3参照）。

(評価)

共同研究・受託研究・受託事業は、地域との連携の強さを示し、地域に結びついた研究活動によって適切な地域貢献をしている。

資料2.5.1-1 平成18年度 県内企業との共同研究テーマの事例

| 担当者            | 研究テーマ                           | 契約金額(円)   |
|----------------|---------------------------------|-----------|
| 工学部助手          | スポーツコンテンツスタジオシステムに関する研究         | 5,313,000 |
| 工学部客員教授        | 食品の物性改良に関する研究開発                 | 2,351,100 |
| 総合科学研究新センター助教授 | フィットネスストレッチャーの研究開発              | 1,860,000 |
| 工学部教授          | 非決定的パラメータにおける最適化方式とオペレータ配置計画の研究 | 1,540,000 |
| 工学部助手          | 動作の高速アニメーション化方式に関する研究           | 1,200,000 |
| 工学部助教授         | 半導体廃モールド樹脂の再資源化                 | 1,165,500 |
| 工学部助教授         | シリカゲルの吸水特性に関する研究                | 1,000,000 |
| 工学部助教授         | 食品の物性改良に関する研究開発                 | 1,000,000 |
| 経済学部教授         | 大分県における防災に関する研究                 | 1,000,000 |

資料2.5.1-2 平成18年度 受託事業状況

| 部局区分                    | 件数 |
|-------------------------|----|
| 経済学部                    | 3  |
| 工学部                     | 5  |
| 医学部                     | 2  |
| 地域共同研究センター<br>イノベーション機構 | 3  |
| 計                       | 13 |

資料2.5.1-3 平成18年度 奨学寄附金

| 部局区分    | 件数  |
|---------|-----|
| 教育福祉科学部 | 21  |
| 経済学部    | 5   |
| 工学部     | 69  |
| 医学部     | 715 |
| その他     | 6   |
| 計       | 816 |

## 2.5.2 産業創出・製品開発

(現状)

本学の持つ知的資源を社会に生かすため、VBL（ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー）はベンチャー企業の育成を図っている。現在までにVBLが関与して設立されたベンチャー企業を資料2.5.2-1に示す。

現在は、新製品の開発、特許取得に向けて、以下に掲げる各事業を積極的に推進している。特許出願も数合わせの出願でなく、新規商品を開発し、それを市場化するための出願がなされている。実際

に、地場企業との共同研究により、市場化された開発商品も出てきた。17年度までに本学の関った商品を資料2.5.2-2に、平成18年度に開発された商品を、資料2.5.2-3に示す。

(写真) 後藤体器との共同研究で開発した  
下肢ストレッチャー

(参照資料)

- 資料2.5.2-1 大学発ベンチャー企業の一覧
- 資料2.5.2-2 本学の関わりのあった新製品
- 資料2.5.2-3 平成18年度に開発された新製品

(評価)

ベンチャー企業の設立、新商品への関わりなど、地域の産業創出・製品開発に対して新製品の創出にも関わるなど、成果が挙げられている。



資料2.5.2-1 本学発ベンチャー企業の一覧

|                              |             |
|------------------------------|-------------|
| 社会システム総合研究所株式会社              | 株式会社ゼロテクノ   |
| 有限会社ニューライム研究社                | 株式会社ジーマム    |
| 有限会社オフィス・ラジオロジスト             | 株式会社まちづくり白杵 |
| 株式会社ルネスインターナショナル             | 有限会社大分 TLO  |
| 有限会社ケムテックイノベーションズ            | WILLNG      |
| 有限会社グローバル・エンバイロメンタル・テクノロジー   | 有限会社イーエイジット |
| エンバイロメンタルコントリビューションインターナショナル |             |

資料2.5.2-2 本学の関わりのあった新製品

| 商品名                 | 製品名              | 担当者           | 関連企業                 |
|---------------------|------------------|---------------|----------------------|
| 虚空蔵「麦酢」             | 発酵大麦エキス          | 教育福祉科学部<br>教授 | 三和酒類株式会社             |
| 赤ワイン                | 赤ワイン             | 医学部 教授        | 三和酒類株式会社             |
| スポンジュレまる<br>まるコラーゲン | ゼリー              | 教育福祉科学部<br>教授 | 塚崎薬品工業株式会社           |
| しじみ週間               | シジミエキス           | 教育福祉科学部<br>教授 | 佐々木食品工業株式会社          |
| 空気清浄機               | 空気清浄機            | 工学部 教授        | ダイキン工業株式会社           |
| つちカエル               | 生ゴミ処理機           | 工学部 助教授       | 株式会社エコアップ            |
| ゆずはちみつスペシャル         | アレルギー軽減の<br>健康飲料 | 工学部 助教授       | 日田市第三セクター、株式会社つえエーピー |



資料 2.5.2-3 平成 18 年度に開発された新製品

| 商品名                | 製品名             | 担当者    | 関連企業        |
|--------------------|-----------------|--------|-------------|
| 酢糖Mg<br>(2006年4月)  | 葉面散布剤           | 工学部助教授 | ファームテック株式会社 |
| アミノ酢糖<br>(2006年4月) | 有機認証用の葉面<br>散布剤 | 工学部助教授 | ファームテック株式会社 |
| ルビスク<br>(2006年10月) | 植物用の代謝促進<br>剤   | 工学部助教授 | ファームテック株式会社 |

## 2.6 教育界との連携

(現状)

大分県教育委員会との連携としては、教育福祉科学部において、夏季休業期間を利用した「大分県教育職員免許法認定講習」を開講した。講習は、14の講座に講師として本学教員13名と学外講師5名の協力を得て実施し、719人の受講者があった。

また、大分県教育委員会や大分市教育委員会が開催した「10年経験者講習」(研修日数延べ26日)に対し、延べ68の講座に、本学から講師を延べ87人派遣した。

(評価)

教員を対象とした(研修)講義を実施し、地域の教育委員会からの要請に応じている。

## 3 地域社会との交流

### 3.1 地域との交流

(現状)

地域社会との交流を図るため、毎年、大学開放イベント・公開講演会等の開催など、地域との連携を目指した事業を実施している(資料3.1-1, -2参照)。特に、本学は、地域の行事である「チキリンばやし大会(参加約100人)」や「はさまきちよくれ祭り」に積極的に参加している。また、公開講演会は、多くの一般市民の参加を得ている。この他、本学教員を高校に派遣して授業を行う出前講義、宿泊を伴う世代間交流出張講座、図書館が行う読み聞かせ会など、特色ある事業を展開している(資料3.1-3参照)。

(評価)

さまざまな事業を通して、地域社会との交流が積極的に行われている。

資料 3.1-1 平成 18 年度 大学開放イベントおよび地域への参加事業

| 事業名             | 実施月日                        | 対象者  | 参加者数  | 実施部局 | 実施場所            | 回数 | 共催等            |
|-----------------|-----------------------------|------|-------|------|-----------------|----|----------------|
| 大分大学開放イベント 2006 | H18.11.5                    | 一般市民 | 2,000 | 大分大学 | 旦野原キャンパス        | 1  | 協定自治体・企業出展     |
| チキリンばやし市民総おどり大会 | H18.8.5                     | 大分市民 | 99    | 大分大学 | 大分駅前 47 万人の広場   | 1  | 大分市主催          |
| はさまきちよくれ祭り      | H18.11.11<br>～<br>H18.11.12 | 由布市民 | 50    | 医学部  | 由布市挾間町中須賀グランウンド | 2  | 由布市主催          |
| キャンドルナイト in 分大  | H18.6.21                    | 大分県民 | 200   | 大分大学 | 旦野原キャンパス        | 1  | 大分県ごみゼロおおいた大作戦 |



資料 3.1-2 平成 18 年度 公開講演会等開催状況

| 事業名   | 実施月日                           | 対象者                         | 参加者数  | 実施部局                    | 場所                  | 回数 | 共催等            |
|---|--------------------------------|-----------------------------|-------|-------------------------|---------------------|----|----------------|
| 公開シンポジウム<br>(明日を守る 防災立県めざして)                      | H18. 8. 25<br>～<br>H19. 2. 25  | 市民一般                        | 300   | 大分大学                    | NHK 大分放送局           | 3  | 大分合同新聞         |
| 講演会(軽度発達障害)                                       | H19. 1. 5                      | 教育関係者<br>学生<br>市民一般         | 700   | 教育福祉科学部(心理教育相談室)        | 本学                  | 1  |                |
| 講演会(経済)   | H18. 4. 21<br>～<br>H19. 1. 25  | 学生<br>教職員<br>市民一般           | 1,300 | 経済学部                    | 本学                  | 6  |                |
| 国際シンポジウム<br>(経済)                                  | H18. 12. 9                     | 学生<br>教職員<br>市民一般           | 100   | 経済学部                    | 本学                  | 1  | 大分 EU 協会       |
| 公開シンポジウム<br>(研究者マインド)                             | H18. 11. 5                     | 市民一般<br>研究者                 | 40    | 総合科学研究支援センター            | 本学                  | 1  |                |
| 講演会(情報処理)   | H18. 1. 17                     | 学生<br>教職員<br>市民一般           | 63    | 総合情報処理センター              | 本学                  | 1  |                |
| VBL セミナー・講演会                                      | H18. 9. 22<br>～<br>H18. 11. 28 | 学生<br>市民一般                  | 150   | VBL                     | 本学                  | 3  |                |
| アントレプレナー<br>セミナー                                  | H19. 3. 17<br>～<br>H19. 3. 21  | 学生<br>小学校 4 年生<br>～中学校 2 年生 | 30    | VBL                     | 本学他                 | 3  | 大分県, 大分県教育委員会他 |
| 大分大学福祉フォーラム(第 10 回)                               | H18. 11. 29                    | 学生<br>教職員<br>市民一般           | 600   | 福祉科学研究センター              | 県施設                 | 1  | 大分県, 大分市他      |
| 講演会(福祉)   | H18. 6. 20<br>～<br>H19. 2. 15  | 学生<br>教職員<br>市民一般           | 556   | 福祉科学研究センター              | 本学他                 | 3  | 大分県看護協会他       |
| 講演会<br>(メンタルヘルス)                                  | H18. 11. 15                    | 学生<br>教職員<br>市民一般           | 50    | 保健管理センター                | 本学                  | 1  |                |
| 講演会<br>(セクハラ・アルハラ)                                | H18. 5. 17                     | 学生<br>教職員<br>市民一般           | 250   | 保健管理センター                | 本学                  | 1  |                |
| セミナー<br>(身体運動他)                                   | H18. 11. 21<br>～<br>H19. 1. 29 | 教職員<br>研究者                  | 100   | 総合科学研究支援センター            | 本学                  | 2  |                |
| セミナー<br>(生体力学)                                    | H19. 3. 2                      | 教職員<br>研究者                  | 50    | 先端医工学研究センター             | 本学                  | 1  |                |
| まちなかアートビレッジ構想 タウンウォッチング                           | H18. 12. 5                     | 学生<br>市民<br>行政              | 40    | まちなか研究室<br>工学部(建築)      | 市内各所, 竹町商店街事務局      | 1  |                |
| まちづくりシンポジウム vol. 4「リレートーク 夢を語ろう! 駅南複合文化交流施設に望むもの」 | H18. 11. 30                    | 市民一般                        | 80    | 大分大学まちなか研究室(建築都市計画研究室,) | 大分市<br>大コンパル<br>ホール | 1  | 共催: 大分市まちづくりの会 |

資料 3.1-3 平成 18 年度 その他の地域連携事業

| 事業名  | 実施日                       | 対象者            | 参加者数          | 実施部局               | 実施場所               | 回数 | 共催等                 |
|--|---------------------------|----------------|---------------|--------------------|--------------------|----|---------------------|
| 出前講義   | 通年                        | 高校生            |               | 事務局(入試課)           | 旦野原キャンパス, 挾間キャンパス他 | 17 |                     |
| 高校の大学訪問  | 通年                        | 高校生            |               | 事務局(入試課)           | 旦野原キャンパス, 挾間キャンパス他 | 12 |                     |
| 学習ボランティア養成・研修事業                                    | 通年                        | 学生, 講座同窓生      | 20            | 生涯学習教育研究センター       | 学内他                | 2  |                     |
| 読み聞かせ会   | H18.7.16<br>～<br>H19.3.18 | 小学生            | 131           | 附属図書館              | 附属図書館              | 8  |                     |
| 国際シンポジウム(中国経済と日本)                                  | H19.1.14                  | 学生, 一般市民       | 200           | 経済学部               | 経済学部               | 1  | 大分経済同友会             |
| 生涯学習出張講座   | H19.2.26                  | 一般市民           | 80            | 生涯学習教育研究センター       | 玖珠町メルサンホール         | 1  |                     |
| 世代間交流出張講座(宿泊型)                                     | H19.3.4<br>H19.3.8        | 小学校1～3年生とその保護者 | 43            | 生涯学習教育研究センター       | 九重青少年の家, 香々地青少年の家  | 2  |                     |
|  |                           | 高校生1～2年生       | 17            |                    |                    |    |                     |
| まちなか寺子屋プロジェクト                                      | H19.1.13<br>～<br>H19.3.3  | 小学生            | 10            | 教育福祉科学部<br>工学部(建築) | まちなか研究室            | 6  | 大道小学校               |
| 別府市鉄輪温泉地区湯けむり景観まちづくり計画策定事業(住民向けタウンウォッチング, ワークショップ) | H18.9.26<br>～<br>H19.2.14 | 学生, 地域住民       | 20<br>～<br>30 | まちなか研究室<br>工学部(建築) | 別府市出張所他            | 4  | ※外部資金(別府市受託事業)により実施 |

### 3.2 大学キャンパス周辺地域との交流

(現状)

本学が旦野原キャンパス周辺住民との交流を目的に開催してきた「大分大学と地域自治会等との懇談会」は、平成 18 年度で 8 回目となる。平成 18 年度は、会場を本学から駕野校区公民館に移して出席の便を図り、周辺 6 自治会の住民、駕野校区自治会長、大分大学前駅長、東植田中学校長の 29 人及び本学関係者(学長・役員, 学部長・事務長, 学生支援部の課長, 学生団体代表等) 25 人が出席した。

また、平成 18 年 12 月には、本学国際交流会館のある大分市錦町との共催で、「2006 国際文化祭」を開催した。このイベントは「大分大学活き<sup>2</sup>プロジェクトのひとつであり、企画・運営は学生サークル「大分大学国際交流ボランティア」が実施した。当日は、留学生が「もちつき」や「茶道」など日本の伝統的文化に触れたほか、参加した 200 人以上の地域住民も留学生たちの民族衣装のファッションショーや留学生手作りの「お国自慢料理」を楽しんだ。

(評価)

且野原キャンパス周辺住民との話し合いの場を校内から地域施設に移して開催し出席の便を図るなど、周辺地域住民との交流に積極性を示している。

資料 3.2-1 平成 18 年度 周辺地域との交流事業

| 事業名              | 実施日         | 対象者    | 参加者数 | 実施部局    | 実施場所   | 回数 | 共催等           |
|------------------|-------------|--------|------|---------|--------|----|---------------|
| 大分大学と地域自治会等との懇談会 | H18. 11. 24 | 自治会住民等 | 31   | 大分大学    | 本学     | 1  | 各自治会等         |
| 国際文化祭            | H18. 12. 10 | 錦町地区住民 | 200  | 留学生センター | 国際交流会館 | 1  | 生き2プロジェクト2006 |

### 3.3 小中高校生対象イベント

(現状)

本学は、これまでに小・中学生を対象とした企画を継続的に実施している。こうした企画は、大分市及び別府市内の全小・中学校にPRパンフレットを郵送あるいは配布し、広報を行っている。

平成 18 年度は、資料 3.3-1 に示すように、「ものづくり教室」、「夏休み子供サイエンス」等 10 のイベントを実施し、参加型 3 イベントに 2,420 人、公開講座型 7 イベントに 251 人の参加者を得た。

高校生を対象としたイベントとして、資料 3.3-2 に示すように、学長と語ろうの会、大分大学進学説明会（オープンキャンパス時）、高校訪問による出前講義などを実施している。

本学の高校を訪問して実施している出前講義は、17 高校を訪問して、延べ 30 人の教員が講義を行った。高校生の大学訪問は 10 校、932 人、また、この際に 4 高校の P T A の来訪もあった。

(評価)

小・中・高構成を対象としたイベント等を活発に行い、本学並びに学びへの興味を引き立てる事に貢献している。

資料 3.3-1 平成 18 年度 小・中校生対象イベント

| 事業名   |                                   | 実施月日                     | 対象者           | 参加者数  | 実施部局              | 回数 |
|-------|-----------------------------------|--------------------------|---------------|-------|-------------------|----|
| 参加型   | 読み聞かせ会                            | 通年                       | 小, 保          | 136   | 附属図書館             | 10 |
|       | 夏休み子どもサイエンス                       | H18. 8. 10               | 小, 保          | 1,292 | 工学部, 教育福祉科学部, 医学部 | 1  |
|       | たんけんしよう! 科学と技術のふしぎな世界 2007        | H19. 3. 17               | 小, 中, 保       | 792   | 工学部               | 1  |
| 公開講座型 | ものづくり探検隊                          | H19. 3. 10               | 小, 保          | 28    | 教育福祉科学部           | 1  |
|       | ものづくり教室 ~切って, けずって, はしゃいで, 昔風竹遊び~ | H18. 12. 24              | 小, 保          | 51    | 教育福祉科学部           | 1  |
|       | 携帯電話で身近な生き物の電子図鑑をつくろう             | H19. 3. 24               | 小 4 ~ 6 年生, 保 | 22    | 教育福祉科学部           | 1  |
|       | 理科や算数を使って親子で遊ぼう                   | H18. 7. 22 ~ H18. 11. 11 | 小 4 ~ 6 年生, 保 | 38/回  | 附属中学校             | 9  |
|       | 夏休み子ども造形美術教室                      | H18. 8. 2 ~ H18. 8. 3    | 小 4 ~ 6 年生    | 51/回  | 附属中学校             | 2  |

注： 対象者の小は小学生，中は中学生，保は保護者，教は教員を示す。

資料 3.3-2 平成 18 年度 高校生対象イベント

| 事業名                   | 実施月日  | 対象者          | 参加者数  | 実施部局         | 回数 |
|-----------------------|---|--------------|-------|--------------|----|
| 大分大学進学説明会(オープンキャンパス)  | H18. 8. 2                                   | 高校生,<br>保護者等 | 1,916 | 事務局<br>(入試課) | 1  |
| 高校生なるほどアイデアコンテスト 2006 | H18. 8. 22<br>～<br>H18. 9. 29               | 高校生          | 137   | 経済学部         | 1  |
| 学長と語ろうの会              | H18. 8. 25                                  | 高校生          | 51    | 入試課          | 1  |
| 学生によるオープンキャンパス        | H18. 10. 7<br>～<br>H18. 10. 8<br>H18. 11. 5 | 高校生          | 130   | 入試課          | 2  |

### 3.4 大学施設の地域開放

(現状)

本学施設の有効利用および資金獲得を目的として、教育研究活動に支障のない範囲で、土曜・日曜・祝日、本学の休業中を中心に本学の施設を地域社会等に開放しているが、平成 18 年度は、貸付事務手続きの簡素化を図ると共に、料金表等をHPに公開し利用者の利便性を向上させた。平成 18 年度の実績を資料 3.4-1 に、その利用例を資料 3.4-2 に示す。前年度と比較して、件数で 13%、金額で 26%増加した。

(評価)

前年度と比較して一時貸し付け件数は増加しており、本学施設利用は広がっている。

資料 3.4-1 平成 18 年度 教室等の一時貸付一覧

( ) 内は前年度実績

| 区分                 | 件数       | 貸付日数      | 使用料収入(円)              |
|--------------------|----------|-----------|-----------------------|
| A 学会・研究会・研修会・公開講座等 | 39 ( 26) | 347 (328) | 1,006,735 ( 699,759)  |
| B 各種資格・認定試験等       | 14 ( 13) | 19 ( 17)  | 1,682,400 (1,026,604) |
| C 職員採用試験等          | 6 ( 7)   | 10 ( 10)  | 876,650 ( 793,362)    |
| D 入試・入試説明会・模擬試験等   | 10 ( 10) | 16 ( 14)  | 649,850 ( 543,470)    |
| E スポーツ施設利用等        | 8 ( 12)  | 76 (216)  | 176,200 ( 428,999)    |
| 計                  | 77 ( 68) | 468 (576) | 4,391,835 (3,492,194) |

資料 3.4-2 平成 18 年度 教室等一時貸付の例

| 区分 | 貸付相手方               | 目的                     |
|----|---------------------|------------------------|
| A  | 大分県文化スポーツ振興財団       | 青年海外協力隊募集応募相談会         |
|    | 大分県教育庁              | 大分県教育職員免許法認定講習         |
|    | 大分銀行                | 科学実験教室                 |
|    | 附属病院救急部             | 心肺蘇生法講習会               |
|    | 大分県サッカー協会           | 日本サッカー協会公認 D 級指導者講習会   |
|    | 日田市                 | 放課後児童クラブ               |
| B  | (財) 消防試験研究センター大分県支部 | 危険物取扱者資格試験             |
|    | 社団法人大分県火薬類保安協会      | 火薬類取扱保安責任者等試験          |
|    | 大分県福祉保健部            | 大分県介護支援専門員実務研修受講試験     |
|    | (財) 行政書士試験研究センター    | 行政書士試験                 |
|    | (特非) 福祉総合評価機構       | 社会福祉会計簿記「初級・中級」認定試験    |
|    | 大分中央郵便局             | かんぽ L C 及び郵貯 F A 検定試験  |
| C  | 大分中央郵便局             | 郵政一般職員採用試験             |
|    | 大分市                 | 大分市職員採用試験              |
|    | 人事院九州事務局長           | 国家公務員採用Ⅲ種試験            |
|    | 法務省                 | 刑務官採用試験                |
| D  | 東進衛星予備校大分明野校        | 東進センタープレ試験             |
|    | 代々木ゼミナール福岡校         | 代々木ゼミナール公開模試           |
|    | 大分県立竹田高等学校          | 模擬試験                   |
|    | 福岡大学                | 福岡大学地方入学試験             |
| E  | 大分市消防局              | 全国消防救助技術大会(水上の部)に向けた訓練 |
|    | 大分県ラグビーフットボール協会     | 体育実技指導者講習会             |
|    | 王子中学校               | 王子中学校クラブ活動             |

### 3.5 公開講座及び授業開放

#### 3.5.1 公開講座

(現状)

本学は、大学開放事業の一環として公開講座を実施している。平成 18 年度は、資料 3.5-1 に示すように 18 講座を開講し、547 人(17 年度は、16 講座 348 人)の参加があった。平成 18 年度の開講数・参加者数は、前年度に比し 2 講座、199 人増であった。

(評価)

公開講座の数、受講者数とも増加傾向にあり、地域に受け入れられている。

資料 3.5-1 平成 18 年度 公開講座状況

| 番号     | 講座名                                   | 開設期間                        | 開設部局         | 受講者数 | 募集人員 |
|--------|---------------------------------------|-----------------------------|--------------|------|------|
| 1      | 発達障害のある子どもたちの教育・保育における支援              | H18. 5. 23<br>～H18. 6. 20   | 教育福祉科学部      | 68   | 60   |
| 2      | 出前講座－大分大学米水津塾－                        | H18. 6. 11<br>～H19. 2. 18   | 大分大学         | 40   | 40   |
| 3      | 泳げない男の子の水泳教室                          | H18. 7. 24<br>～H18. 7. 30   | 工学部          | 17   | 10   |
| 4      | 泳げない女の子の水泳教室                          | H18. 7. 24<br>～H18. 7. 30   | 教育福祉科学部      | 24   | 20   |
| 5      | ちびっ子スイミング男子                           | H18. 7. 24<br>～H18. 7. 30   | 教育福祉科学部      | 9    | 10   |
| 6      | ちびっ子スイミング女子                           | H18. 7. 24～<br>H18. 7. 30   | 工学部          | 10   | 10   |
| 7      | 聞いて・見て・触って・体験して分かる身近な検査や治療・処置         | H18. 7. 26<br>～H18. 9. 13   | 医学部          | 71   | 50   |
| 8      | 夏の海で、親子がいろんな体験にチャレンジする講座              | H18. 9. 2<br>～H18. 9. 3     | 生涯学習教育研究センター | 47   | 50   |
| 9      | 理科や算数を使って親子で遊ぼう                       | H18. 7. 22<br>～H18. 11. 11  | 附属中学校        | 38   | 30   |
| 10     | 夏休み子ども造形美術教室                          | H18. 8. 2<br>～H18. 8. 3     | 附属中学校        | 51   | 40   |
| 11     | 楽しくつくろう！木工教室                          | H18. 8. 21<br>～H18. 8. 25   | 教育福祉科学部      | 17   | 16   |
| 12     | 建築学研究最前線<br>－研究成果と建築実務の接点を求めて－        | H18. 9. 20<br>～H18. 9. 26   | 工学部          | 27   | 50   |
| 13     | 発達障害のある子どもたちの教育・保育における支援              | H19. 1. 9<br>～H19. 2. 6     | 教育福祉科学       | 42   | 40   |
| 14     | 親子で学ぶふるさと探訪講座－身近にある植物、川、遺跡知っていますか－    | H18. 11. 18<br>～H18. 12. 9  | 生涯学習教育研究センター | 39   | 40   |
| 15     | 地域と国際経済                               | H18. 10. 2<br>～H18. 11. 9   | 経済学部         | 34   | 30   |
| 16     | 毛筆でオリジナルな心温かい年賀状を書こう！                 | H18. 10. 18<br>～H18. 11. 29 | 教育福祉科学部      | 2    | 30   |
| 17     | 学習ボランティアのための学習プログラムの企画と運営             | 未実施                         | 生涯学習教育研究センター | 0    | 15   |
| 18     | 大人が学べば、授業はこんなにおもしろい！<br>－理科と英語の授業を例に－ | H19. 2. 13<br>～H19. 2. 22   | 生涯学習教育研究センター | 11   | 30   |
| 合 計    |                                       |                             |              | 547  | 571  |
| 前年度 合計 |                                       |                             |              | 348  | 505  |

### 3.5.2 公開授業

(現状)

本学は、学生向けに開講している講義科目を一般に公開する公開授業を継続して実施している。平成18年度は、資料3.5.2-1で示すように92科目で合計75人の受講者があった。前年度に比し、科目数は1.1倍増となり、受講者は1.4倍と増加している。

(評価)

公開授業科目数は毎年増加しており、教員の意識は授業公開に積極的である。今後は、広報活動の拡充を図り、受講者数の拡大に努める。

資料3.5.2-1 平成18年度 公開授業の開講科目数及び受講者数

|       | 開講科目数 | 受講者数 |
|-------|-------|------|
| 前期    | 37    | 31   |
| 後期    | 55    | 44   |
| 計     | 92    | 75   |
| 前年度 計 | 82    | 54   |

募集人員は、各科目10名、MOT特論のみ25名

## 4. 教員の社会的活動

### 4.1 審議会等の活動

(現状)

本学の知的財産である教員はその専門性を生かし、社会のさまざまな審議会等に参画している。参画する場合は、兼業を届け出て、承認を得ることになっている。

平成18年度は、資料4.1-1に示すように、国、県、その他公的機関や公益法人等で延べ約400名が活動したほか、非常勤講師として延べ約280名が地域の活動に参画した。前年度に比し、延べ総数で736名の増であった。(注：非常勤医師は前項にあるので除く)

(評価)

教員はその専門性を活かし、社会のさまざまな分野において活動しており、地域・社会の要請に十分に応えている。



資料 4.1-1 平成 18 年度 兼業の届け出状況

| 種 別                    | 学部等別のべ人数 (人)  |           |              |            |                 |    | 計<br>(577) | 前年計<br>(590) | 内 容   |
|------------------------|---------------|-----------|--------------|------------|-----------------|----|------------|--------------|---|
|                        | 教<br>(98)     | 経<br>(61) | 医.病<br>(274) | 工<br>(115) | その<br>他<br>(29) |    |            |              |   |
| 教育に<br>関する<br>兼業)      | 非常勤講師         | 118       | 43           | 87         | 23              | 8  | 279        | 99           | 私立大学, 公立大学, 放送大<br>学等                         |
|                        | 委員会           | 34        | 1            | 0          | 2               | 3  | 40         | 34           | 教育委員会等  |
|                        | その他           | 4         | 0            | 0          | 1               | 1  | 6          | 9            | 大分県教育センター, 博物館,<br>史料館, 青年の家等                 |
| 教育以<br>外に関<br>する兼<br>業 | 地方公共団体等       | 84        | 30           | 104        | 41              | 31 | 290        | 147          | 県市町村, 県市町村付設の機<br>関等                          |
|                        | 公益法人等         | 10        | 7            | 56         | 12              | 19 | 104        | 67           | 財団法人, 社団法人, 社会福<br>祉法人, 特殊法人等, 特定非<br>営利活動法人等 |
|                        | その他           | 4         | 7            | 25         | 5               | 4  | 45         | 20           | 裁判所, 学会等                                      |
|                        | 非常勤医師         | 0         | 0            | 909        | 0               | 1  | 910        | 695          | 再掲  |
| 国等                     | 国立大学法人等       | 19        | 3            | 30         | 7               | 2  | 61         | 40           | 国立大学法人, 高専等                                   |
|                        | 国の行政機関        | 16        | 12           | 44         | 9               | 11 | 92         | 41           | 省庁, 省庁所管の公益法人,<br>独立行政法人等                     |
| 営利企<br>業               | 営利企業の役員       | 0         | 7            | 2          | 6               | 0  | 15         | 3            | 有限会社・株式会社 (技術移<br>転・研究成果活用・監査役)               |
|                        | 営利企業の役員<br>以外 | 2         | 2            | 53         | 6               | 2  | 65         | 7            | 有限会社・株式会社等                                    |
| 計                      |               | 291       | 112          | 1,310      | 112             | 82 | 1,907      | 1,162        |   |

注：1 その他には、福祉社会科学部及びセンター等の専任教員を含む。

2 ( ) 内の数字は、平成 18 年度の在籍教員数

## 4.2 学外での講演等

(現状)

本学の教員が自らの専門知識、経験等を直接的な形で社会や地域に還元する活動の一つとして、学内・外において、講演活動等を行っている。平成 18 年度は、資料 4.2-1 に示すように合計 791 回の講演を行った。

(評価)

教員はその専門性を活かして講演活動を行い、地域・社会の要請に応じている。

資料 4.2-1 平成 18 年度 学外での講演等活動件数

| 部局等   | 合計<br>( 573 ) | 教育福祉<br>学部(97) | 経済学部<br>(61) | 医学部<br>(275) | 工学部<br>(112) | 福祉社会<br>科学研究<br>科(2) | センター<br>(26) |
|-------|---------------|----------------|--------------|--------------|--------------|----------------------|--------------|
| 18 年度 | 791           | 146            | 3            | 631          | 11           |                      |              |
| 前年度   | 254           | 45             | 3            | 158          | 45           |                      | 3            |

( ) 内の数字は平成 18 年度の在籍教員数

## 5. 国際交流

### 5.1 研究者及び学生の国際交流

(現状)

本学は、国際交流促進の一環として、各国の大学・病院等と国際交流協定を結んでいる。平成 18 年度には、資料 5.1-1 に示すように 8 校と新たに締結を結んだ。平成 18 年度までの国際交流協定締結校は、資料 5.1-2 に示すように、中国 11、韓国 12、アメリカ 5 等の 14 ヶ国、41 校（病院を含む；学部間協定校を含む）であり、うち 31 校が学術交流を、また 36 校が学生交流を目的としている。

協定締結校からの学生交流では、受入学生のうちアジア地域からが 80%弱を占めているが、派遣学生はアジア地域とアメリカ・ヨーロッパの英語圏とが半数ずつとなっている。アジア地域への派遣が増加したものの、受入が派遣を上回る状況である。また、協定締結校以外の研究者の交流では、派遣が受入の概ね倍数となっている。今後、派遣を促進する方策が必要となっている。

国際交流協定を締結している大学等の大半がアジア地域であることから、大分市と友好都市である武漢市の大分市事務所に「大分大学事務所」を平成 18 年 5 月に設置し、本学の活動拠点とする。

(評価)

協定校数、派遣・受入留学生数は増加し、海外の活動拠点を確保するなど、国際交流事業は適切に展開されている。今後は派遣の促進に努める。

資料 5.1-1 平成 18 年度 新規交流協定締結校

| 地域    | 大学名        | 国又は地域   | 締結年月日      | 交流内容         |
|-------|------------|---------|------------|--------------|
| 北米    | サンディエゴ州立大学 | アメリカ合衆国 | H18. 8. 25 | 学術交流<br>学生交流 |
| ヨーロッパ | メーラダーレン大学  | スウェーデン  | H18. 9. 5  | 学術交流<br>学生交流 |
| アジア   | 対外経済貿易大学   | 中華人民共和国 | H18. 4. 21 | 学術交流<br>学生交流 |
|       | 培材大学校      | 大韓民国    | H18. 6. 7  | 学術交流<br>学生交流 |
|       | 暎園大学校      | 大韓民国    | H18. 6. 8  | 学術交流<br>学生交流 |
|       | 中南財經政法大学   | 中華人民共和国 | H18. 8. 31 | 学術交流<br>学生交流 |
|       | 江南大学校      | 大韓民国    | H19. 2. 29 | 学術交流<br>学生交流 |
| オセアニア | 西オーストラリア大学 | オーストラリア | H18. 7. 6  | 学術交流         |

資料 5.1-2 平成 18 年度 研究者・学生の派遣と受入数

| 地域              | 国又は地域    | 締結校数 | 研究者 |    | 学生 |        |
|-----------------|----------|------|-----|----|----|--------|
|                 |          |      | 派遣  | 受入 | 派遣 | 受入     |
| 北米              | アメリカ合衆国  | 5    | 1   |    |    | 1<br>2 |
| 中南米             | ドミニカ共和国  | 2    |     |    |    |        |
| ヨーロッパ           | オランダ     | 1    |     |    |    | 1      |
|                 | イギリス     | 1    | 1   |    | 2  | 2      |
|                 | ドイツ      | 1    |     |    | 5  | 5      |
|                 | ポルトガル    | 1    |     |    |    |        |
|                 | スウェーデン   | 1    |     |    |    |        |
| アジア             | 中華人民共和国  | 1    | 1   | 5  |    | 1<br>7 |
|                 | 大韓民国     | 1    | 2   | 1  | 1  | 2<br>8 |
|                 | タイ       | 2    |     |    |    |        |
|                 | インドネシア   | 1    |     |    |    | 2      |
|                 | フィリピン共和国 | 1    |     |    | 1  | 0      |
|                 | 台湾       | 1    |     |    |    | 5      |
|                 | シンガポール   | 0    | 1   |    |    |        |
| オセアニア           | オーストラリア  | 1    |     |    |    |        |
| 合計              |          | 40   | 4   | 6  | 18 | 72     |
| 内 締結校に対する派遣・受入  |          |      | 1   | 5  | 18 | 72     |
| 内 非締結校に対する派遣・受入 |          |      | 3   | 1  | 0  | 0      |
| 前年度 合計          |          | 40   | 20  | 13 | 19 | 70     |
| 内 締結校に対する派遣・受入  |          |      | 4   | 3  | 18 | 68     |
| 内 非締結校に対する派遣・受入 |          |      | 16  | 10 | 1  | 2      |

注：協定校数は平成 19 年 3 月末現在

## 5.2 調査等の協力

研究調査のために海外に出かけたり外国研究者の参加を得た国内でのフォーラム開催などを行った。その概要を資料 5.2-1 に示す。なお、平成 18 年度には、韓国の協定校培材大学から 20 名の学生が、語学研修等により来訪している。

また、学部独自の外国研究者との交流や支援事業等も行っており、平成 18 年度においても、ドミニカ共和国への医療支援の継続のほか、ベトナム社会主義共和国においては、唇顎口蓋裂の治療と現地医師に対する臨床指導を 5.2-2 のとおり行った。

(評価)

韓国の協定校の学生来訪の受け入れや医療援助については、継続的に実施されており、一過性の協力ではないところが評価できる。

資料 5.2-1 平成 18 年度その他の国際交流状況

| 本学<br>学部・研究科 | 国際交流の内容               | 実施期間                        | 国名      | 機関等名                 | 備考              |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|---------|----------------------|-----------------|
| 大分大学         | 交流協定調印式（来訪）           | H18. 4. 20<br>～H18. 4. 23   | 中華人民共和国 | 対外経済貿易大学             |                 |
| 大分大学         | 大分市武漢事務所訪問            | H18. 5. 14                  | 中華人民共和国 | 大分市武漢事務所             |                 |
| 大分大学         | 協定校訪問                 | H18. 5. 15                  | 中華人民共和国 | 江漢大学 華中科技大学          |                 |
| 大分大学         | 交流協定調印式（訪問）           | H18. 6. 7                   | 大韓民国    | 培材大学                 |                 |
| 大分大学         | 交流協定調印式（訪問）           | H18. 6. 8                   | 大韓民国    | 暎園大学                 |                 |
| 大分大学         | 協定校訪問                 | H18. 6. 8                   | 大韓民国    | 西京大学                 |                 |
| 大分大学         | 協定校来訪                 | H18. 8. 30<br>～H18. 9. 1    | 中華人民共和国 | 中南財經政法大学             |                 |
| 大分大学         | 交流協定調印式（訪問）           | H18. 9. 5<br>～H18. 9. 6     | スウェーデン  | メーラダーレン大学            |                 |
| 大分大学         | 協定校来訪                 | H18. 11. 6<br>～H18. 11. 8   | 中華人民共和国 | 華中科技大学               |                 |
| 大分大学         | 協定校来訪                 | H18. 12. 11<br>～H18. 12. 13 | 中華人民共和国 | 江漢大学                 |                 |
| 教育福祉科学部      | 姉妹校ミラル学校（韓国）との共同研究    | H18. 9. 10<br>～H18. 9. 13   | 大韓民国    | ミラル学校                | 大分大学参加者（教員 3 名） |
| 経済学部         | 国際シンポジウム（転換期のヨーロッパ統合） | H18. 12. 9                  | EU      | 大分 EU 協会             | 駐日欧州委員会代表部      |
| 大分大学         | 協定校来訪                 | H18. 1. 22                  | 大韓民国    | 培材大学                 | 学生 20 名         |
| 大分大学         | 協定校来訪                 | H18. 1. 25                  | 大韓民国    | 培材大学                 | 職員研修            |
| 留学生センター      | 派遣留学生受入状況調査           | H19. 2. 26<br>～H19. 3. 3    | 大韓民国    | 忠州大学<br>順天大学<br>培材大学 |                 |
| 教育福祉科学部      | ミラル学校創立 10 周年記念式典     | H19. 3. 8<br>～H19. 3. 11    | 大韓民国    | ミラル学校                | 大分大学参加者（教員 1 名） |
| 留学生センター      | 派遣留学生受入状況調査           | H19. 3. 20<br>～H19. 3. 22   | 中華人民共和国 | 中南財經政法大学<br>江漢大学     |                 |

資料 5.2-2 平成 18 年度 学部単独の国際交流活動

| 学 部     | 交 流 大 学 等  | 交 流 内 容              |
|---------|--|----------------------|
| 教育福祉科学部 | 韓国自閉症養護学校「ミラル学校」   | 研究者および学生交流           |
| 経済学部    | 中国の数校の大学   | 国際シンポジウム開催           |
|         | 香港大学   | 学生の語学研修派遣            |
| 工学部     | 密陽大学   | 日韓共同シンポジウム開催         |
|         | 中国, 韓国の大学  | 日中韓建築デザインキャンプ        |
|         | 韓国の大学  | 応用電磁現象に関する日韓国際シンポジウム |
|         | 忠州大学 (韓国)  | 建築構造に関する国際シンポジウム     |
| 医学部     | 平成 18 年 12 月にベトナムにおいて、唇顎口蓋裂患者治療のための国際医療援助チーム (医師及び看護師 5 名と学生 2 名) として医療活動を行うとともに、現地のベトナムとラオスの医師に形成手術と小児麻酔の臨床指導を行った。学生 2 名も活動の一端を担い、医療・医学・福祉の修学への意欲を高めた。また、同国における耳鼻咽喉科・頭頸部領域の医療レベル向上と喉頭全摘者に対する音声機能の再獲得を指導するため、平成 19 年 3 月に、医師 2 名を派遣した。 |                      |

## 6. 同窓会との連携

(現状)

本学の同窓会は学部・学科等の単位で組織されている。平成 17 年度に、大学と同窓会との連携および同窓会相互の連携を目的として、全同窓会の合同交流会を大分 (大分県内在住者対象:参加 212 名) 及び東京 (関東地区在住者対象:参加 94 名) で開催した。平成 18 年度には大阪 (関西地区在住者対象:参加 69 名) で開催し、平成 19 年度は、福岡 (九州地区在住者 (県内を除く)) で開催予定である。

(評価)

学部別同窓会を連携しようと積極的に働きかけており、適切に対応している。